

令和7年度 兵庫県青少年愛護審議会（全体会）次第

日時：令和8年1月29日（木）15:00～

場所：第3号館7階 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 議 事

(1) 会長の選出及び会長代理の指名、部会に関する委員部会長の指名

(2) 有害興行の指定について（報告）

資料1

(3) 青少年の健全育成の推進【主要施策】について（報告）

資料2

5 子どもたちのネット利用の現状について（竹内委員）

6 意見交換

7 閉 会

<配布資料一覧>

- ・ 青少年愛護審議会委員名簿
- ・ 青少年愛護審議会幹事名簿
- ・ 配席図
- ・ 有害興行の指定 資料1
- ・ 青少年の健全育成の推進【主要施策】 資料2

青少年愛護審議会委員名簿

○委員（17名）

（50音順、敬称略）

氏 名	役 職 名	出 席
秋山 侑平	兵庫県弁護士会弁護士	○
浅野 香	生活衛生同業組合兵庫県興行協会事務局長	○
新井 肇	関西外国語大学外国語学部教授	○
大谷 由紀子	摂南大学理工学部教授	○
木田 薫	認定NPO法人ソーシャルデザインセンター淡路理事長	○
木戸 みどり	兵庫県中学校長会副会長	○
北野 実	兵庫県議会議員	○
佐治 健史	一般社団法人電気通信事業者協会業務部長	○
菅野 繁	株式会社神戸新聞社編集局次長	○
竹内 和雄	兵庫県立大学環境人間学部教授	○
西牟田 和子	兵庫県PTA協議会副会長	
服部 岳士	一般社団法人日本フランチズチェーン協会 セーフティステーション活動推進委員会委員長	○
林 明美	兵庫県青少年補導委員連合会副会長	○
船越 明子	神戸市看護大学看護学部教授	○
松原 英世	甲南大学法学部教授	○
安井 唯善	兵庫県書店商業組合理事長	
山崎 清治	兵庫県青少年団体連絡協議会副代表理事	○

兵庫県青少年愛護審議会幹事名簿

○幹事（34名）

氏名	役職名	出席（代理）
能登 栄治	総務部秘書広報室広報広聴課長	
宮原 芳文	総務部教育課長	
吉村 興二	県民生活部総務課長	
野田 政裕	県民生活部県民躍動課長	○（藤木副課長兼参画協働班長）
岡田 知見	県民生活部芸術文化課長	
喜多 和美	県民生活部くらし安全課長（県民生活部次長兼務）	○
水川 晃子	県民生活部男女青少年課長	○
小田 直樹	福祉部こども政策課長	○
助野 吉郎	福祉部児童家庭課長	○
河原 秀和	福祉部障害福祉課長	○
小田 睦子	保健医療部薬務課長	○
天野 和幸	保健医療部生活衛生課長	○
常陰 朗雄	産業労働部労政福祉課長	
田口 修由	産業労働部能力開発課長	
澤田 和也	農林水産部農業経営課長	
望月 松寿	農林水産部水産漁港課長	
森田 直子	環境部環境政策課長	
安井 洋一	中央こども家庭センター所長	○（野村所長補佐兼家庭支援課長）
柿本 裕一	精神保健福祉センター所長	○（上村所長補佐）
秋田 大輔	県教育委員会事務局義務教育課長	○（田頭主任指導主事兼高校生徒指導班長）
倉橋 良太	県教育委員会事務局高校教育課長	
山本 司	県教育委員会事務局社会教育課長	○（新谷主任指導主事兼社会教育班長）
土井 一弥	県教育委員会事務局体育保健課長	○（平澤主任指導主事兼主幹）
東内 淳	県教育委員会事務局人権教育課長	○
竹島 均	県警察本部生活安全部参事官兼生活安全企画課長	○
大下 泰史	県警察本部生活安全部少年課長	○
松井 由紀子	神戸家庭裁判所次席家庭裁判所調査官	
山田 美紀	神戸地方検察庁検事（少年係）	○
阿曾 ころろ	神戸地方法務局人権擁護課長	○
菅原 美穂	神戸保護観察所首席保護観察官	
植村 剛久	兵庫労働局雇用環境・均等部企画課長	
榎波 拓真	神戸市こども家庭局こども青少年課青少年育成担当課長	○（海老原青少年育成担当係長）
河上 真吾	神戸市教育委員会事務局学校教育部児童生徒課長	○
福本 良忠	社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会地域福祉部長	○

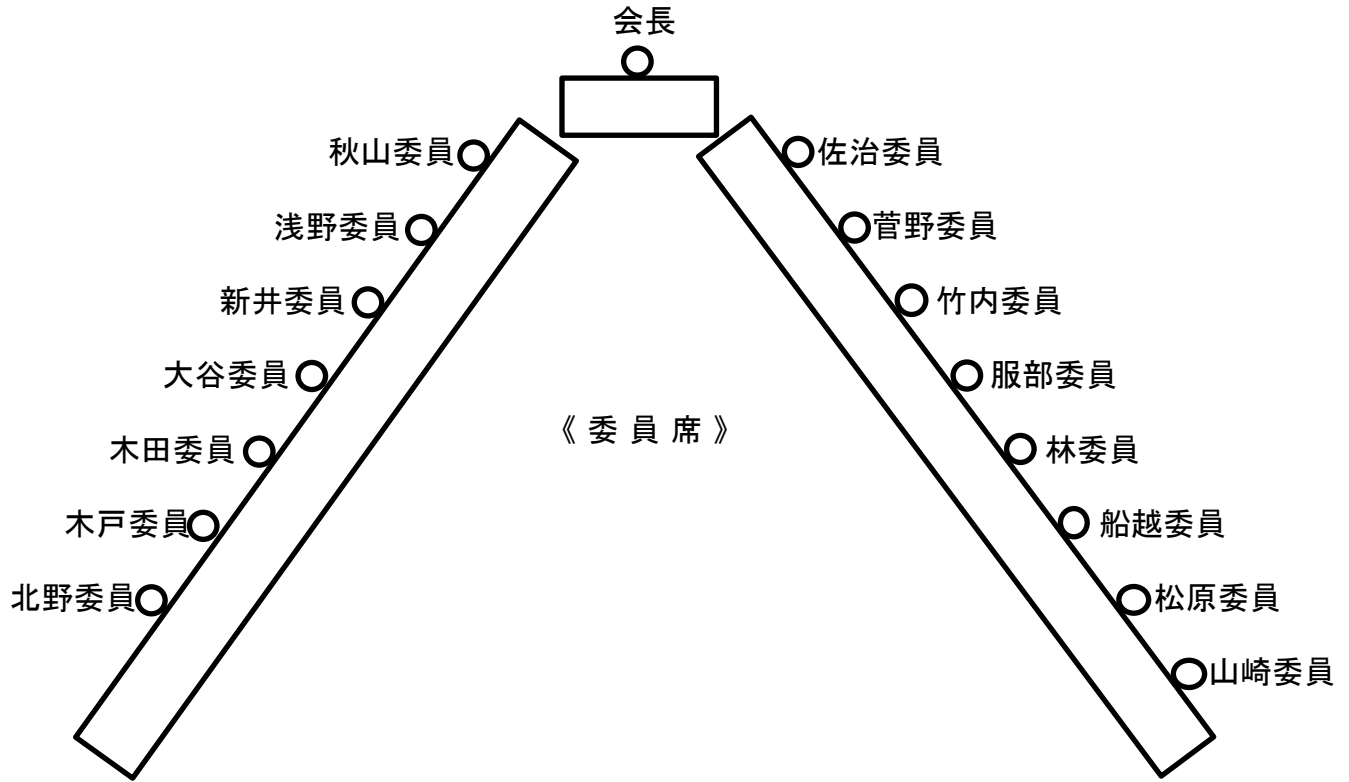
兵庫県青少年愛護審議会事務局

田中 序生	県民生活部長
喜多 和美	県民生活部次長
前阪 一彰	公益財団法人兵庫県青少年本部業務執行理事
水川 晃子	県民生活部男女青少年課長
奥本 聡子	県民生活部男女青少年課副課長
藤岡 健吾	県民生活部男女青少年課青少年指導班長
山本 隆司	県民生活部男女青少年課青少年育成班長
板羽 茂雄	県民生活部男女青少年課青少年指導調査専門員

< 配席図 >

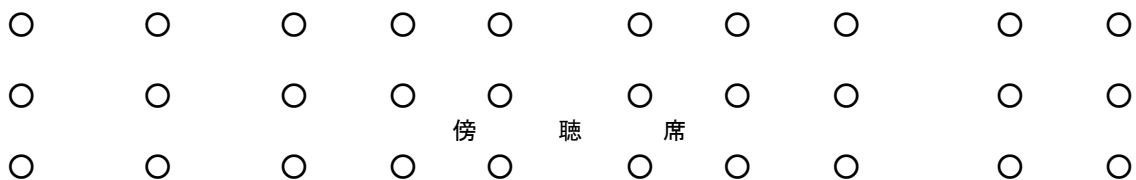
出入口

〔 令和7年度 兵庫県青少年愛護審議会（全体会）
 日時：令和8年1月29日（木）15:00～
 場所：兵庫県庁第3号館7階 大会議室 〕



事務局

指導班長 藤岡青少年	水川男女青少年課長	喜多県民生活部次長	田中県民生活部長	奥本男女青少年課副課長	山本青少年育成班長
兵庫県青少年本部	板羽青少年指導調査専門員	福祉部こども政策課	県民生活部県民躍動課	県教委社会教育課	高校教務課・義務教育課
神戸地方法務局	神戸地方検察庁	福祉部障害福祉課	福祉部児童家庭課	県教委人権教育課	県教委体育保健課
神戸市教育委員会	神戸市こども家庭局	保健医療部生活衛生課	保健医療部薬務課	県警少年課	県警生活安全企画課
	兵庫県社会福祉協議会	精神保健福祉センター	中央こども家庭センター		



出入口

有害興行の指定

令和8年1月29日

兵庫県男女青少年課

男女第 1 8 8 1 号
令和 8 年 1 月 29 日

兵庫県青少年愛護審議会 会長 様

兵庫県知事 齋 藤 元 彦

有害興行の指定について（報告）

青少年愛護条例第 25 条第 1 項ただし書の規定に基づき、有害興行を別紙
のとおり指定しましたので、同条例第 25 条第 2 項の規定により報告します。

有害興行の指定状況

区 分	指 定 状 況	指 定 数
		令和7年1月15日～令和8年1月6日
第11条(指定)	興 行 (映 画)	18本

有害興行の指定一覧表

(令和7年1月15日～令和8年1月6日)

番号	配給会社	種別	興行の題名	指定年月日
1	オーピー映画	映画	ダンス・オブ・欲望 うしろめたい股間	令和7年2月7日
2	新東宝映画	映画	禁断！母のあえぎ	令和7年2月7日
3	新東宝映画	映画	人妻快樂遊戯 秘密の花園	令和7年4月4日
4	クロックワークス	映画	FAMME フェム（原題）FAMME	令和7年4月4日
5	鈴正	映画	KIDS キッズ（原題）KIDS	令和7年4月4日
6	シンカ	映画	秘顔—ひがん—（原題）HIDDEN FACE	令和7年5月7日
7	新東宝映画	映画	花嫁クライマックス 続けざまに何人も	令和7年7月1日
8	サンリス	映画	サターン・ボウリング （原題）BOWLING SATURNE (SATURN BOWLING)	令和7年7月1日
9	ハーク	映画	狂ったリビドー（原題）破浪男女 （THE CHRONICLES OF LIBIDOIST）	令和7年7月1日
10	アンプラグド	映画	KNEECAPニーキャップ（原題）KNEECAP	令和7年7月1日
⑪	IVS41	映画	MAD MASK	令和7年8月5日
12	コピアポア・フィルム	映画	スターレット（原題）STARLET	令和7年8月5日
⑬	ソニー・ピクチャーズ	映画	アンティル・ドーン（原題）UNTIL DAWN	令和7年8月5日
⑭	スターキャットアルバトロス・フィルム	映画	バイオレント・ネイチャー （原題）IN A VIOLENT NATURE	令和7年9月2日
⑮	ワーナー・ブラザース映画	映画	ファイナル・デッドブラッド （原題）FINAL DESTINATION : BLOODLINES	令和7年11月7日
16	オーピー映画	映画	ふしだらジャンクション 直結連結みだれ鳴き	令和7年12月9日
⑰	ワーナー・ブラザース映画	映画	WE P O N S / ウェポンズ（原題）WEAPONS	令和7年12月9日
18	リアリーライクフィルムズ	映画	SEBASTIAN セバスチャン（原題）SEBASTIAN	令和8年1月6日

注 数字の○印は、「著しく粗暴性又は残忍性を助長するもの」として、その他は「著しく性的感情を刺激するもの」と認められたことにより指定された。

青少年の健全育成の推進【主要施策】

令和8年1月29日

兵庫県男女青少年課

青少年愛護条例のもと、地域、学校、事業者、保護者等が一体となって、青少年を守り育てる活動を展開するとともに、(公財)兵庫県青少年本部や青少年団体等と連携し、青少年の健全育成を推進する。

また、不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年の社会的自立支援のほか、青少年のインターネット対策を推進する。

1 青少年愛護活動の展開

青少年愛護活動推進員による立入調査や業者指導等を通じ、青少年愛護条例の適正な運用を図り、青少年を取り巻く良好な環境づくりを推進する。

(1) 青少年を取り巻く有害環境実態調査

青少年の健全な育成に悪影響を及ぼすおそれのある営業を対象に、県民局・県民センター等に設置した青少年愛護活動推進員が調査や業者指導を行い、市町や学校等に情報提供する。

< R 6 年取組状況 > ※ 毎年 12 月末時点で把握集計

区分	図書類 販売店	ビデオ レンタル店	玩具類 取扱店	カラオケ ハウス	JKビジネスに 繋がるおそ れのある店	ネット カフェ	携帯電話 販売店	計
調査対象 店舗数	2,359	58	835	139	127	32	525	4,075

(2) 青少年育成スクラム会議の開催

兵庫県青少年を守る店連絡協議会をはじめ事業者、青少年育成団体等 51 団体が参画し、青少年健全育成の課題・方策、非行・被害防止等について協議を行う。

< 全県会議 > 令和 7 年 7 月 1 日(火)

< 地域会議 > 県下 10 地域で各 2 回以上、R 6 実績：43 回

(3) 市町の取組支援

青少年の保護・非行防止を図るため、研修会等の開催を通じて、市町による青少年補導活動を支援する。

< 市町の体制 (令和 7 年 5 月 9 日現在) >

区分	センター数・人数	内容
青少年補導センター	28 センター	いじめや不登校、非行等に関する悩み相談、街頭補導活動や見守り、青少年を有害な情報や環境から守る取組等を実施。
青少年補導委員	3,005 人	市町長等が委嘱した民間有志のボランティアで、街頭補導活動を行う。

2 青少年育成のための基盤づくりと体験活動の推進

生きる力を育む体験活動の機会を提供するとともに、青少年のふるさと意識を醸成し、地域で活躍する人材を育成する。

(1) ひょうご子ども・若者応援団による支援（青少年本部自主事業）

青少年の健全育成に意欲のある企業・団体等と、青少年育成活動に取り組む団体をつなぎ、企業等から提供された寄附・物資に基づく活動助成を実施する。

＜内 容＞ 支援企業数（累計）：896 社

青少年団体・グループ数（累計）：321 団体

支援内容

- ・青少年の体験活動、社会参加、リーダー養成等の事業への助成
- ・ネットトラブル対策、インターネット学習会の事業への助成
- ・物資、人材等のマッチング支援

(2) 兵庫・沖縄友愛事業の推進

昭和 47 年に沖縄県と締結した友愛提携を踏まえ、両県の青年が交流活動を通じて友愛の絆を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育むため、「兵庫・沖縄青年リーダー交流事業」を実施する。

＜R 7 実績＞

実施場所	沖縄県（秋季）	兵庫県（冬季）
実施日	R7. 11. 23～11. 26	R8. 2. 7～2. 10（予定）
対 象	県内在住・在勤・在学の 18 歳～35 歳までの青年	
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・平和学習（島守の塔、のじぎくの塔等） ・自然学習（マリンアクティビティ等） ・文化学習（沖縄の工芸、ものづくり体験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化学習（玄武洞ミュージアム等） ・自然学習（兔和野高原での雪上アクティビティ等） ・防災学習（兵庫県広域防災センター）
参加者数	20人 （兵庫14人、沖縄6人）	募集30人 （兵庫15人、沖縄15人予定）



【秋季キャンプ(沖縄)】



【冬期キャンプ(兔和野高原)】

(3) 青少年団体やNPO 等による子どもの冒険ひろばでの活動支援

野外空間で手づくりの遊具等を用い、子どもたちがのびのびと遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」の開設を支援する。

＜内 容＞ 1 団体あたり 20 万円以内、概ね 20 団体

＜開 設 数＞ 76 箇所（常設ひろばの令和 7 年 3 月末開設累計）

＜R 7 実績＞ 26 団体に助成

＜事 業 例＞ 公園やアスレチック施設を利用した自然遊びや秘密基地づくり
 工作やアウトドアクッキングなどのイベント



【屋外遊びの様子(東播磨)】

(4) ひょうごっ子・ふるさと塾事業の実施

青少年団体が、青少年のふるさと意識を醸成するため、“身近な地域での社会体験”や“豊かな自然に触れる多様な体験”を提供する取組を支援する。

＜内 容＞ 1件あたり20万円以内、23件程度

＜R6実績＞ 25件（「伊丹と宝塚のふるさと探訪」、
「雪国生活体験キャンプ」など）



【ファミリーキャンプ(野外活動協会)】

(5) SDGs HYOGO 青年チャレンジ事業の実施

世界共通の課題であるSDGsの推進に取り組む青年グループの活動に対し助成することにより、次代を担う青年リーダーを育成する。

＜内 容＞ 1件あたり20万円以内、10件程度

＜R6実績＞ 10件（「GOMIから輝く笑顔に（清掃活動の取組）」、【「GOMIから輝く笑顔に」活動状況】
「空き家改修による地域交流拠点開設事業」など）



【「GOMIから輝く笑顔に」活動状況】

(6) 体験施設の運営

ア 県立いえしま自然体験センター（姫路市家島町西島）の運営

瀬戸内の豊かな自然の中で、体験・実践型の多様なプログラムを実施するとともに、子どもリーダー養成講座や指導者養成講座等を開設し、「自然体験活動・海の環境学習の拠点」として運営する。

＜指定管理者＞ 一般社団法人いえしま自然体験協会

＜施設内容＞ 管理棟、食堂、環境学習センター、
ロッジ、テントサイト、野外炊飯場 等

＜利用者数＞

年 度	R4	R5	R6
利用者数	16,391人	19,235人	17,050人



【カヌー体験】

イ 県立こどもの館（姫路市太市中）の運営

子育て支援機関や団体の活動の中核拠点として、遊びや創作活動を通し、子どもたちの健やかな成長を支援するとともに、多彩な事業を展開する。

＜指定管理者＞ こどもみらいクリエイティブ共同事業体（R6～）
（代表団体：神姫トラストホープ株式会社）

＜施設内容＞ 工作室、多目的ホール、親子遊戯室、
円形劇場、図書室、こども工房 等

＜利用者数＞

年 度	R4	R5	R6
利用者数	127,286人	164,021人	184,629人



【施設全景】

3 課題を抱える青少年の支援

不登校やひきこもりなどの課題を抱える青少年の社会的自立を支援するため、関係機関との連携のもと、相談対応等を行う。

(1) 電話相談「ほっとらいん相談」の実施

ひきこもり当事者や家族のために、青少年のための総合相談窓口を設置する。

<開設日時> 月・水・土曜日（週3日）
10:00～12:00、13:00～16:00



【ほっとらいん相談・地域ランチチラシ】

<R6実績>

件数	内容別内訳						相談者内訳	
	ひきこもり	不登校	非行	虐待	いじめ	主訴不明	本人	本人以外
702	648	26	20	0	0	8	639 (91.0%)	63 (9.0%)

(2) 地域ランチの設置

ひきこもり等の支援を行うNPO団体等と協働で、県内5か所に地域ランチを設置し、電話・来所・訪問による相談支援や、研修、情報交換を通じた市町支援など、当事者にとって身近な地域でのひきこもり支援を進める。

<設置場所>

地域	受託団体	所在地	開設日
阪神	(一社)いきがいがし	西宮市	火～金
播磨	(認特)コムサロン21	姫路市	月～土 (第2・4・5土曜休)
但馬	(特非)コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク	豊岡市	月～金
丹波	(特非)結	丹波篠山市	月・水・金
淡路	(認特)ソーシャルデザインセンター淡路	南あわじ市	月～金

<R6実績> ※5ランチの合計

電話相談	来所相談	訪問相談	計	相談者内訳	
				本人	本人以外
1,383	4,913	322	6,618	5,126 (77.5%)	1,492 (22.5%)

(3) 青少年地域支援員の配置

不登校の長期化からひきこもりへの移行や学校卒業・中退後の青少年の孤立等に対応するため、令和6年度から、地域ランチに青少年地域支援員を配置。卒業・中退等で学校から離れた後も、切れ目なく支援するため、支援員が学校と連携しながら青少年への個別支援を行う。

<R6実績> 学校訪問数 316校
相談対応件数 293件 ※いずれも5ランチの合計

(4) ひきこもりサポーターの育成

地域におけるひきこもりの支援人材を育成するため、「ひきこもりサポーター育成研修」を実施する。

また、中級コースを修了した後、サポーター登録した者を対象に、当事者や家族との関わり方等を学ぶフォローアップ研修を各地域ランチで年1回開催する。

(5) 県立神出学園・県立山の学校の運営

寮での共同生活や野外作業・ものづくり体験等を通して、ひきこもり・不登校等の課題を抱える青少年の社会的自立を支援する。



【楽器レッスン(神出学園)】 【チェーンソー実技(山の学校)】

<施設概要>

(令和7年12月1日現在)

区分	神出学園 (神戸市西区)	山の学校 (宍粟市)
設立	平成6年10月	平成5年1月
指定管理	H18.4.1～ ((公財)兵庫県青少年本部)	H26.4.1～ ((公財)兵庫県青少年本部)
入学時期	4月及び5～10月までの随時	4月及び5～10月までの随時
R7 在籍者数	36人	4人
対象	県内在住の義務教育を修了した23歳未満の男女	県内在住の義務教育を修了した24歳未満の男子
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内活動 (調理・手芸・音楽等) ○農作業体験や動物とのふれあい ○心理カウンセラーによる個別対応 ○学習指導を通じた進路選択支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○林業体験等を通じた人づくり ○野外活動等による仲間づくり ○職場体験等を通じた進路選択支援
在籍期間等	2年以内 (最大1年延長可) 全寮制	1年以内 全寮制
R6 修了者	19人	9人
体験プログラム (R6実績)	<ul style="list-style-type: none"> ○1日交流体験プログラム (参加者数:171人) [中学生～概ね40歳までの男女] ○オープンかんで (参加者数:35人) [小・中学生の男女] 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験入学 (参加者数:12人) [15～25歳程度の男女] ○チャレンジ体験 (参加者数:1人) [概ね39歳までの男女] ○「トライやる」チャレンジ体験(参加者数:1人) [中学生の男女]

(6) 「県立神出学園・県立山の学校の機能充実に向けたあり方検討委員会」の設置

設置後30年を経過したことや、不登校児童生徒・ひきこもり者増加の社会情勢等を踏まえ、令和7年度に有識者を含む委員会を設置し、時代に即した施設のあり方等を検討する。

(7) 「ひょうごユースケアネット推進会議」の運営

保健、医療、福祉、教育、雇用等に関係する34機関で構成し、社会生活を営む上で困難を有する青少年の支援に係る情報交換や連携による支援を実施する。

4 青少年のインターネット対策の推進

過度なネット利用による健康面への影響や犯罪被害を防止するため、青少年が自ら考えるワークショップ等の開催、スマホ等利用に関するガイドラインを活用した啓発等、年齢層に合わせた幅広い取組を展開する。

(1) 青少年自らの取組への支援

ア 全県ワークショップの開催

子どもたち自身が対応策を考え、発表し合う「ひょうごネットトラブル防止ワークショップ」を開催する。

<R 7実績> 令和7年9月20日(土) 小中高生32名

イ スマホサミット in ひょうご 2025 の開催

家庭・学校・地域の関係者がスマホやインターネットとの上手なつきあい方について青少年とともに考え、学び、取組の輪を広げる全県大会を開催する。

<R 7実績> 令和7年12月14日(日)

参加校7校、参加者・観覧者数75名

<内 容> 参加校の取組発表、意見交換等



【スマホサミット in ひょうご 2025】

(2) 適切なインターネット利用に向けた啓発、スマホ・ネット依存対策の推進

ア 子どもの健康に配慮したスマホ等の使い方ガイドラインの普及啓発

兵庫県警察本部少年課と共同で作製した啓発動画を、デジタルサイネージにより効果的に発信し、普及啓発を推進。

<R 7実績> 春のこどもまんなか月間(令和7年5月1日~31日)

青少年の被害・非行防止全国強調月間(令和7年7月1日~31日)

秋のこどもまんなか月間(令和7年11月1日~30日)



【子どものスマホガイドライン】

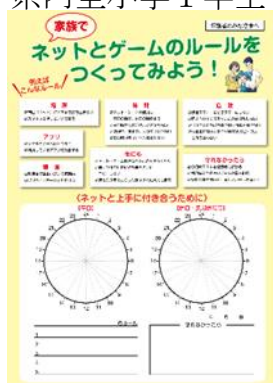


啓発動画放映場所: 神戸市三宮センター街(大型スクリーン)

イ 親子でスマホの使い方を考えるためのワークシートを配布

<配付対象> 県内全小学1年生

<部数> 54,000部



【ワークシート「家族でネットとゲームのルールをつくってみよう！」】

ウ 「人とつながるオフラインキャンプ2025」の実施（青少年本部自主事業）

ネット利用を見直したい青少年（小学5年～18歳以下）を対象に、ネットから離れて自然とふれあい、日常生活を見直すきっかけとするキャンプを実施する。

また、ネット依存の実態や回避方法等を調査・研究し、県民に普及・啓発する。

<実施場所> 県立いえしま自然体験センター他

<R7実績> 15名参加（小学生1名、中学生8名、高校生（相当も含む）6名）



【カヌー】



【キャンプファイヤー】



【保護者会】

(3) 事業者や関係機関との連携による取組

ア インターネット利用に関する調査の実施

県内小中高生（約2万名）とその保護者を対象に、ネットの利用状況や健康面への影響、トラブル経験の有無、依存傾向等を調査・分析する。

イ 携帯電話事業者との連携によるフィルタリング利用の推進

携帯電話事業者等で構成する「青少年のインターネット利用対策戦略会議」における事業者との意見交換により、携帯電話契約時のフィルタリング契約の促進や、安全なネット利用に向けた新たな取組を推進する。

【県内18歳未満の者が使用する携帯電話契約時のフィルタリング率】

R5年度：84.6% → R6年度：87.3%

ウ 「青少年のネットトラブル防止大作戦」推進会議の実施

警察、教育委員会、PTA、青少年団体、マスコミ等で構成する推進会議において、安全安心なインターネット利用に向けた効果的な取組や、新たな課題への対応を検討し、各団体の活動に反映・推進する。（年2回）